

ミズホメディー インフォメーション

今月のテーマ



アデノウイルスについて



アデノウイルスは、咽頭結膜熱（プール熱）、流行性角結膜炎、扁桃腺炎、肺炎、胃腸炎、急性濾胞性結膜炎、出血性膀胱炎などを引き起こす感染症で、季節を問わず出現するととも感染力の強いウイルスです。

感染経路

- ・飛沫感染：咳やくしゃみ等で飛び散ったウイルスを吸い込むことで感染
- ・接触感染：ウイルスを含んだ飛沫や鼻水の付いたタオルや食器等を介して感染

潜伏期間

5～7日

症状

◆咽頭結膜熱（プール熱）

- ・38～40度の高熱が4日～7日間続きます。
- のどの痛みや結膜炎で目が真っ赤になることがあります。小児に多い病気です。
- 通常は6月ごろから流行しはじめて、7月8月にピークとなります。

◆流行性角結膜炎

- ・目が充血し、目やにが出ます。片目発症後4～5日後に反対側の目も発症することがあります。症状が治るまでに2～3週間かかります。

治療

アデノウイルスに特效薬はなく、安静と十分な水分補給が大切です。

- まずは医療機関で受診しましょう。
- 安静にして休養を取りましょう。
- 飲みたいもので結構ですので十分に水分を取るようにしましょう。
- 他の人にうつらないように、タオルなどは別々のものを使いましょう。

製品情報

微生物/遺伝子検査(PCR・QProbe法)が身近に



日本マイコプラズマ学会の「肺炎マイコプラズマ肺炎に対する治療指針」が改訂され、従来のLAMP法に加え、新たにQProbe法が追加されました。

《例示》

5頁：治療指針SUMMARY（小児版）、22頁：治療指針SUMMARY（成人版）

1. マイコプラズマ肺炎の急性期の診断はLAMP法あるいはQプローブ法などを用いた遺伝子診断、および、免疫クロマトグラフィー法による抗原診断が有用である。